

「めざせ1万人！大阪・淀川市民マラソン」

大阪・淀川市民マラソン実行委員会 ○実行委員長 須知 裕曠
副実行委員長 亀井 澄夫
事務局 田川 洋子

1. 活動方針と目的

「ふるさ都・夢づくり協議会」が提案する“環淀川市民構想”が原点。大阪の歴史・文化を育んだ母なる川「淀川」を囲む地域住民の連携を深め、世界にアピールできる淀川を見直す。

「河川敷のフルマラソン」「市民の手づくりマラソン」「環境と人にやさしいエコマラソン」を、大阪・淀川市民マラソンならではの特徴とし、だれでも参加しやすく楽しめることをモットーとし、ボランティアのスタッフが毎年工夫を重ねながら運営している。制限時間フル8時間、ハーフ4時間と長時間設定。参加料も他より低く維持。また、エコマラソンとして、ランナーに排ガスを吸って走って欲しくない、CO₂排出を極力減らしたいとの思いから、10年前の第1回より電気自動車や天然ガス車などの低公害車（エコカー）を運営車両のすべてに適用しているほか、“ランナーも淀川美化委員！”といった呼びかけで人が増えてもゴミが増えないマラソンを目指している。

2. 活動内容

淀川の河川敷を走るマラソンを実現するため、「大阪・淀川市民マラソン実行委員会」を結成し、近畿地方整備局淀川河川事務所、財団法人河川環境管理財団大阪事務所との共催で「大阪・淀川市民マラソン」を毎年11月の第1日曜日に開催。第1回は参加ランナー約1,800名でスタート。知名度が高まるとともに参加申し込みが増え続け、10年目の'06年11月5日（日）の大会は参加ランナー約6,000名で開催。現在近畿においては福知山マラソン、篠山ABCマラソンに次いで3番目であり、フルマラソン全国約60大会のうち18位に入る規模に成長した。一般人による「手づくりマラソン」ながら、雑誌「ランナース」の人気投票で全国約1700大会のうち常に100位以内にある。また、排気ガスのないマラソンコースとしても注目され、世界に誇れる大会といえる。

一方、ランナーの約47%、一般・企業ボランティアの約85%が淀川流域の市町村から参加しており、スタッフ含め参加者の5割近くが“環淀川市民”であり、全国区のマラソンに成長するとともに、より地域に密着した存在になってきている。

3. 今後の課題等（今後の地域づくりに向けた配慮・取り組み項目）

①コース環境の整備

現在の左岸コースのキャパシティから参加ランナーを約6千人までに制限しており、今後も増加するであろうランナーに対応し難い状況になっている。しかし、1万人規模のマラソンを目標に、コース上の安全確保、ゴルフ場の協力が不可欠な両岸コースの実現を含め、地域・行政の協力・理解をますます獲得していかなばならない。

②将来も継続可能な運営体制として、参加ボランティア団体のNPO組織化

③世界に誇れる「エコマラソン」として、新たなエコ技術の活用

めざせ1万人！ 大阪・淀川市民マラソン



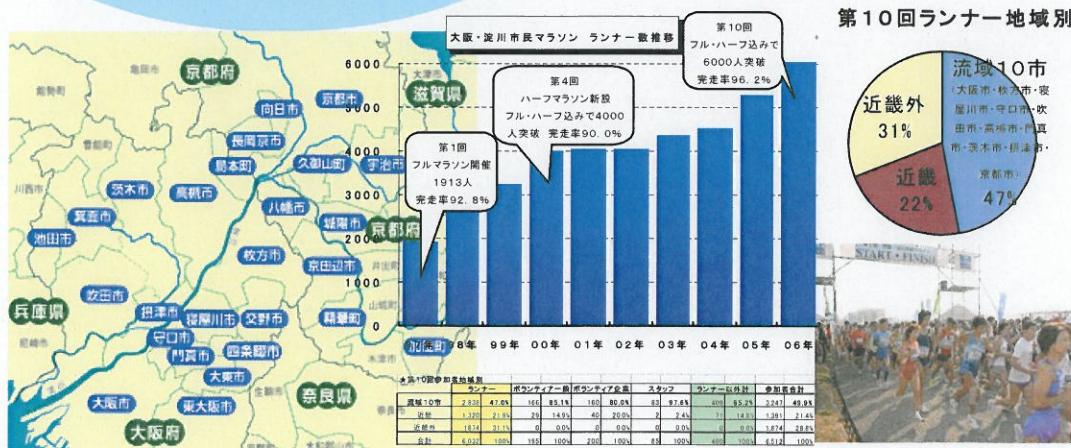
大阪・淀川市民マラソン実行委員会

実行委員長 須知裕曠

大阪・淀川市民マラソンとは？

＜環淀川市民構想＞
流域市民の連携で、世界に
アピールできる淀川へ

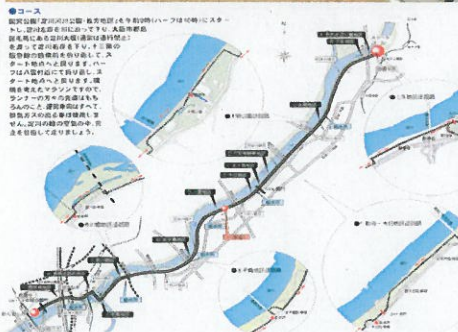
自分たちの手で、環淀川の
フルマラソンを実現したい



<大阪・淀川市民マラソンならではの特徴①>



河川敷のフルマラソン



•42.195kmが河川敷⇒
都会の中の自然、淀川を満喫
／通常は通れない淀川大堰を
走ることができる

•平坦なコース⇒誰もが気軽に
楽しみ自分のペースで完走するこ
とに意義を求める

•制限時間8時間(ハーフは
4時間)で長時間⇒マラソン
初心者でも完走を目指せる

<大阪・淀川市民マラソンならではの特徴②>



市民の手づくりマラソン

- ボランティア主体の
運営組織⇒素人なが
ら知恵を出し合い、楽し
みながら、毎年工夫を
重ねる(エアロビクス、
おにぎりやカイロなどの
ランナーサービス、「ペ
アの部」提案など)
- 多くの老若男女が参
加⇒一般応募と企業
のボランティア約400
名、10代～70代まで
声援で広がる人の輪



<大阪・淀川市民マラソンならではの特徴③>



環境と人にやさしいエコマラソン(1)

エコカー



‘97年の第1回から継続して、天然ガス車や電気自動車などの低公害車(エコカー)を運営車両すべてに使用(約28台)

- ⇒・排ガスをランナーに吸わせない
- ・CO2を極力出さない



<大阪・淀川市民マラソンならではの特徴③>



環境と人にやさしいエコマラソン(2)

ランナーも淀川美化委員！

淀川美化委員5箇条

1. コースでごみを落としません
2. 自分のごみを知らんぷりしません
3. 迷子のごみは拾います
4. 捨てるごみはきっちり分けます
5. 人が増えてもごみが増えないマラソンにします



国内マラソン参加規模の比較



フルマラソン(全国約60)

1. NAHA(沖縄) 19.846
2. 荒川市民(東京) 17.992
3. いぶすき菜の花(鹿児島) 10.925
4. 福知山(京都) 8.818
5. 篠山ABC(兵庫) 8.790
18. 大阪・淀川市民(大阪) 2.794

ランニング総合(全国約1,700)

1. 荒川市民(東京) 21.371
2. NAHA(沖縄) 19.846
3. 青梅マラソン(東京) 15.806
4. いぶすき菜の花(鹿児島) 14.315
5. つくば(茨城) 12.474
29. 大阪・淀川市民(大阪) 6.032

フルマラソン・ランニング総合(近畿): 1.福知山(京都)8.818
 2.篠山ABC(兵庫)8.790 に次いで**大阪・淀川市民マラソンは3位**

淀川ファンは増加中！だが...

淀川ファンの期待に応える環境づくり



- ・全国区のマラソンに成長
- ・「環淀川市民」の高い参加率で進む地域密着



目指せ
1万人が走れる
コース

安全で快適な環境づくりへ地域や行政と協力

コースの
キャパシティ
現在6000人で
制限

河川敷利用者の協力が不可欠！

- ★駐車などコース付近に障害出現
- 1万人コース:この日は道をランナーに譲って応援



ゴルフ場の協力が不可欠！

- ★現状:左岸のみの折り返しコース
- 1万人コース:右岸へまわる“両岸コース”が理想
- しかしゴルフボールが飛んでくるなど危険も多い